



### ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

【電話相談／仙北市保健課】

《固定電話》 ☎ 55-1112

《携帯電話》 📞 080-2813-0835



仙北市ホームページ  
はコチラ！



## たばこの害から

## 子どもを守ろう

### 健やかな成長の妨げに

妊婦さんが喫煙していると、ニコチンが胎盤への血流を悪化させるため、おなかの中の赤ちゃんは低酸素・低栄養状態に。流産や早産、低出生体重などの異常が起こりやすくなります。

喫煙する母親の母乳にはニコチンが含まれます。その母乳を赤ちゃんが飲むことでおう吐や下痢、不眠、哺乳量の減少といったニコチン中毒症状があらわれることがあります。

また親が喫煙していると赤ちゃんが突然死するリスクが高くなります。

### 受動喫煙の被害の例

被害の例として、乳幼児突然死症候群・ぜんそく・せきやたん、息切れ・歯周病やむし歯・中耳炎などがあります。



また、子どもの頃の受動喫煙が成人になってからの肥満・糖尿病・メタボリックシンドロームに関連があることが分かっています。

### 次の方法では受動喫煙を防ぐことはできません

- ▼換気扇の下 換気扇の真下で作った料理のおいが部屋中に漂うように、換気扇では受動喫煙は防止できません。
- ▼ベランダ 窓を閉めていても隙間からたばこの煙が家の中に流れ込みます。
- ▼空気清浄機の近く たばこの中の一部の物質を除去できるものもありますが、すべて除去できません。空気清浄機を置いただけでは受動喫煙はほとんど防止できません。
- ▼加熱式たばこ 加熱式たばこにもニコチンや発がん性物質が含まれ、周囲の空気を汚染します。

### 受動喫煙だけじゃない、たばこの害

子どもの誤飲事故原因の第1位が「たばこ」です。子どもの手の届くところにたばこや吸い殻を置かないなどの対策がありますが、「禁煙」が一番の防衛策です。

子どもの健康と将来を守るため、禁煙を考えましょう



受動喫煙防止  
シンボルマーク  
「すいたくないボウヤ」